

# 花街の景観まちづくり最前線



2014.9.28日  
13:30~16:45

会場：三業会館 3階ホール 新潟市中央区西堀前通9番町1538  
TEL (025) 222-2237 (駐車場がありませんのでご注意ください)

参加費：一般 500円 (新潟まち遺産の会・古町花街の会会員は無料) 定員：100名



同時開催!!



「ブラニイガタ番外編 ―古町花街の料亭拝見―」

(集合) 17:00 (解散) 18:30 / 集合場所：三業会館前  
参加費：500円 (保険料、「古町花街たてもんのマップ」の料金含む)

共催：NPO法人まちづくり学校、NPO法人堀割再生まちづくり新潟  
後援：新潟県、新潟市、(公財)新潟観光コンベンション協会、新潟商工会議所、新潟三業協同組合、新潟芸妓屋組合、  
柳都振興(株)、新潟中心商店街協同組合、古町八番町商店街組合、古町九番町商店街組合、新潟シティガイド、  
新潟市都市景観形成市民団体連絡協議会、(社)新潟県建築士会新潟支部、  
(社)日本建築家協会関東甲信越支部新潟地域会、新潟県社交飲食業生活衛生同業組合新潟支部、  
新潟県まちなみネットワーク、NPO法人全国町並み保存連盟、NPO法人日本民家再生協会、  
公益財団法人日本ナショナルトラスト (予定含む)  
協力：新潟大学工学部都市計画研究室、立命館大学理工学部都市計画研究室

2014 にいがた 夏食の陣  
～芸妓の舞コース～

が開催されます。詳細は、  
新潟三業協同組合のHPをご覧ください。

# 2014. 9. 28日 第6回 柳都新潟・古町花街イベント

## 花街の景観まちづくり最前線

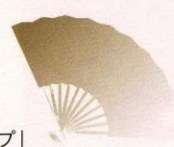
13:00 開場	
13:30	<b>基調報告</b> <b>「このまちのために、できること —先斗町の取り組み—」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 金田祐一 (かねだ ゆういち) 先斗町いづもや取締役社長。先斗町まちづくり協議会副会長。</li> <li>● 植南草一郎 (うえなみ そういちろう) 先斗町すきやきいろは四代目、先斗町まちづくり協議会シンポジウム実行委員長、京都造形芸術大学教授。</li> <li>● 神戸 啓 (かんばん あきら) うさぎのアトリエ びよんびよこびよん店主、先斗町まちづくり協議会副会長・事務局長。</li> </ul>
14:30 終了	
	<b>休憩</b>
14:45	<b>パネルディスカッション</b> <b>「古町花街の景観はどう変わるか？」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 神戸 啓 (前掲)</li> <li>● 行形和滋 (行形亭若主人、新潟三業協同組合理事長)</li> <li>● 金親顯男 ((株)ITスクエア取締役会長、古町花街の会会長)</li> <li>● 大倉 宏 (美術評論家、砂丘館館長、新潟まち遺産の会代表)</li> </ul> <b>司会：岡崎篤行</b> (新潟大学教授、NPO法人全国町並み保存連盟理事)
16:45 終了	

### 同時開催!!

### 「ブラニイガタ番外編 —古町花街の料亭拝見—」



(集合) 17:00 (解散) 18:30 / 集合場所：三業会館前  
 参加費：500円 (保険料、「古町花街たてものマップ」の料金含む)  
 石畳舗装が完成した東新道や「ヘヤナカサ」と呼ばれる新潟独特の路地を巡ります。  
 また、江戸末期創業で日本随一の規模と格式を誇る料亭鍋茶屋や、  
 明治の料亭建築の原型が残る割烹有明の内部を特別に拝見させていただきます。都市や建築の専門家のご案内します。



「柳都新潟 古町花街 たてものマップ」

**「2014 にいがた 夏食の陣 ～芸妓の舞コース～」**が開催されます。  
 この機会に、古町花街の料亭でお座敷文化をご体験ください。開催日は以下の通りです。  
 詳細は、新潟三業協同組合のホームページをご覧ください。  
 有明(9/27)、行形亭(9/26・27)、一ノ木(9/20)、金辰(9/20)、さらく(9/13・27)、  
 小三(別館)(8/23)、大善(9/5・6)、鍋茶屋(9/19・20)

**古町**は、伝統的景観が残る料亭の  
**花街**としては全国随一です。  
 若手芸妓を継続的に輩出する、貴重な生き残った花街  
 でもあります。中心市街地活性化のカギとしても  
 期待されており、行政の制度を利用した景観整備  
 も始まっていますが、抜本的な改善には至って  
 ません。  
 そこで今回は京都五花街の一つであり、風情のあ  
 る路地にお茶屋が建ち並ぶ先斗町の関係者をお呼  
 びし、お話を伺います。先斗町では、住民が主体  
 となって、屋外広告物の整理や市の地区指定を活  
 用した景観整備、さらには情報発信にも取り組ん  
 でいます。先斗町の事例を参考に、花街における  
 景観まちづくりの可能性や課題について考えます。

**会場：三業会館 3階ホール**  
 新潟市中央区西堀南通九番町1538  
 TEL (025) 222-2237  
**参加費：一般 500円**  
 (新潟まち遺産の会、古街花街の会会員は無料)



(それぞれについて、参加希望にチェックをつけてください。)

基調講演「このまちのために、できること」

パネルディスカッション「古町花街の景観はどう変わるか？」

「ブラニイガタ番外編 —古町花街の料亭拝見—」

参加申込みは、FAX **025-228-2537**  
 またはメールでお申し込み下さい  
 (chanoma@machi-isan.sakura.ne.jp)  
 受付、定員に達した旨返信いたします。返信のない方は事務局までお問い合わせ下さい  
**申込〆切：9月21日(日)**

お名前	ご本人以外の参加者が ある場合は、全員のお名 前をお書きください。	参加者人数 (ご本人を含めて)	名
ご住所	今後当会からのイベント等 の連絡を受け取りたい方は 住所を御記入ください。		
お電話番号 (FAX)			

新潟まち遺産の会会員     古町花街の会会員     会員外

# 市へ三業会館改修提言

8/30 古町花街の会 「観光の拠点に」

新潟市中央区の古町地区の花街文化活性化に取り組む市民団体「古町花街の会」は29日、市役所を訪れ、

芸妓の稽古場などがある築約50年の三業会館（西堀前通9）の改修を求める提言書を篠田昭市長に提出し

た。伝統継承や、港町の風情を残す下町地区や西大畑地区の散策の拠点とするこ

となどを提案した。三業会館は1963年に完成した新潟三業協同組合（同区）の施設。芸妓の舞や三味線の稽古が行われて

いるが、現在は一般には非公開で、ホールなどの利用も組合関係者の利用が中心という。

提言書では、稽古を一部公開している金沢市などに倣い、市民や観光客に開かれた施設にする必要があると指摘。東京五輪前年の2019年の新潟港開港150周年までに、物産販売や観光案内・休憩機能を備え、稽古の見学もできる交流拠点としての再整備を求めた。

金親顕男会長は「新潟の一番の宝は下町、港町のイメージがある古町。会館は老朽化して耐震化も必要なので、これを機に市の力も借りて『ふるさと会館』みたいな物を造ればありがたい」と要望した。

篠田市長は「耐震化や建て替え費用の調査など、土台を一緒に固めていって、できるだけ市民に喜んでもらえる方向性を見いだしたい」と答えた。

古町花街の会は12年に発足し、経済人や飲食店関係者をはじめ法人・個人の約80の会員でつくる。



①篠田昭市長に提言書を手渡す「古町花街の会」の金親顕男会長②29日、新潟市役所③市民団体が改修を提言した三業会館④新潟市中央区

